

えべつ 市議会だより

令和6年8月1日発行

No.158

発行 江別市議会
江別市高砂町6番地
電話(011)381-1051

編集 議会広報広聴委員会

印刷 江別印刷業協同組合

市議会だより研修会を開催しました！



市議会における有効な広報ツールである市議会だより。より分かりやすく、伝わる誌面を作ることを目的に、研修会を開催いたしました。今後も、皆様に手に取っていただける市議会だよりを目指します。

主 な 内 容

- ◇ 特集 先進地調査を行いました 2～3
- ◇ 令和6年第2回定例会の概要 4～5
- ◇ 一般質問 6～10
- ◇ 特集 議員の横顔 10～11
- ◇ 委員会のページ 12

次期定例会の開催予定

- 第3回定例会
9月3日～9月19日
- 各委員会
9月4日～9日
- 一般質問
9月11日～13日

※日程は予定です。
詳しくは議会事務局まで
お問い合わせください。

議会ホームページ <https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/>

ホームページでは、議案等に対する各議員の賛否の状況や会議録(本会議・各委員会)など、議会の情報が御覧になれます。

また、江別市議会フェイスブックでも、議会の最新情報を発信しておりますので、こちらもぜひ御覧ください。



江別市議会
ホームページ

障がいのある方のための、点字とCDによる「えべつ市議会だより」もあります。
また、ホームページに音声データをアップしております。

【詳細】障がい福祉課障がい福祉係 ☎(011)381-1031

先進地調査を行いました

江別市議会では、他の自治体の先進的な取組等について、各委員会で1年おきに調査を行っています。今年は、4月16日～18日に議会広報広聴委員会、5月8日～10日に議会運営委員会がA班・B班に分かれて調査を行いました。

※二次元コードを読み取ると、各委員会の調査報告書をご覧ください。



議会広報広聴委員会



大阪府八尾市 <調査項目> 市民参加の取組/議会だよりの作成

議会だよりの表紙に、高校生の部活動の写真を採用するほか、誌面に市民から募集した写真を掲載するなど、市民の皆さんに議会の広報広聴活動に関わっていただく工夫がなされていました。

やお市議会だよりの「市民に寄り添う議員たち」の誌面では、議員の笑顔の写真とともに、趣味や好きな食べ物などを載せており、少しお堅いイメージの議員が笑顔で質問に答える姿を見せることによって、議員の存在をより身近に感じてもらえる企画となっていました。



兵庫県丹波市 <調査項目> 市民との意見交換会/ミライプロジェクト/議会だよりの作成



従前から実施していた意見交換会に加え、昨年度から「井戸端スタイル」という新たな形式の意見交換会を開始した経緯や、開催方法、周知方法の説明を受けました。

高校生からの政策提言に議員が答えるミライプロジェクトの取組は、大学が所在する当市においても参考になる取組でした。

議会だよりは、編集ソフトを使用して作成し、基本方針に沿った親しみやすい誌面づくりの工夫がなされていました。

兵庫県西脇市 <調査項目> 議会報告会/高校生版議会報告会/議会だよりの作成

全80自治会に出向く「議会と語ろう会」において、女性グループや各種団体からの意見を聴き、提案を実現した事例などの説明を受けました。

高校生版議会報告会の取組内容や成果のほか、今年8月に実施予定の高校生議会の概要の説明を受けました。

議会だよりモニターを導入して幅広い意見を取り入れながら、デザイン性や配色なども勘案した広報誌を作成していました。



議会運営委員会 A班

岐阜県可児市 <調査項目> 政策提言・提案の取組(議会サイクル)
/一般質問から委員会所管事務調査への追加

議員個人の一般質問を常任委員会で取り上げ、所管事務調査を経て、緊急性や必要性などを勘案した上で全会一致となった場合、委員会代表質問を行っていました。全会一致による委員会代表質問は執行部への影響が大きく、議会からの政策提案につなげることが可能になるとのことでした。



三重県亀山市 <調査項目> 議会基本条例に伴う検討課題カルテ/所管事務調査報告による提言



各常任委員会が所管事務調査を実施する際に、必ず調査研究テーマに関する意見交換を市民(団体)と行った上で報告書をまとめ、市長へ政策提言を行っていました。毎年様々なテーマで意見交換を重ねることで、委員会の活性化と機能の充実が図られていました。

三重県いなべ市 <調査項目> 議会における施策評価・事務事業評価/議会モニター制度

総合計画から2、3の事業を選定し、予算決算常任委員会で評価シートを作成することで議会による評価を行った後、執行部からの報告を受けていました。評価シートの取りまとめを全会一致により決定することで、決定に重みが増し、執行部との適度な緊張感を保つ効果が生まれるとのことでした。



議会運営委員会 B班



山口県防府市 <調査項目> 議会モニター制度/議会基本条例に基づく議会改革

議会運営に関する意見を求めるため、団体推薦と公募による10名程度の市民を任期2年の議会モニターとして委嘱し、モニターは、議会運営、議会だより、ホームページへの意見を提出するほか、議会との意見交換会を行っていました。これまで、モニターの意見を基に、議会中継や議会だよりの内容が改善されたとの説明を受けました。



山口県山陽小野田市 <調査項目> 政策提案特別委員会/議会政策討論会/議会モニター制度



議員からの議題の申入れにより、議長が座長となり、全議員で構成される議会政策討論会を実施し、議題を提出した議員が概要説明を行った後、取りまとめられた意見を常任委員会で調査研究の上、政策提言としてまとめていました。これまで4つの議題が提出され、討論会の開催を経て、総合計画等に反映させていました。

広島県東広島市 <調査項目> 政策研究会/所管事務調査/政策立案能力の強化に向けた取組

政策の調査研究とその成果を議会で共有することを目的として、3～5名の任意の議員による自由度の高い組織として政策研究会を設けていました。会員は、同一会派ではない共通の調査研究を行う議員で、調査期間は2年以内とされており、会派の枠を超えた議員間の活動が活発化するなどの成果が出たとの説明を受けました。



令和6年 第2回 定例会

第2回定例会は6月10日から6月25日まで16日間の会期で開かれました。子ども医療費助成条例の一部改正をはじめ、一般会計補正予算などの議案19件、意見書案2件、陳情2件、報告10件を議了しました。

主な議案の内容についてお知らせします。

議決結果・賛否の状況については、江別市議会ホームページで公開しております。



条例

◎子ども医療費助成条例の一部改正

児童手当法の一部改正により、児童手当の支給に係る所得制限が撤廃されることから、児童手当の所得制限に準拠している本市の条例においても所得制限を撤廃し、所得制限により助成対象外とされていた中学3年生までの子どもを助成対象とするため、必要な改正を行うもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

一般議案

◎江別太南大通り整備工事請負契約の締結

国道337号に接続する江別太南大通りを振り替えるための道路の新設に伴う地盤改良工事を行うため、一般競争入札の結果、2億7千656万7千720円で契約を締結するもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎財産の取得（大型除雪グレーダの購入）

除排雪体制の強化のため、大型除雪グレーダ1台を4千983万円で購入するもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎財産の取得（水槽付消防ポンプ自動車、消防ポンプ自動車、救急自動車の購入）

車両の老朽化に伴い、水槽付消防ポンプ自動車1台を8千119万3千500円で、消防ポンプ自動車1台を3千576万2千760円で、救急自動車1台を3千338万6千230円でそれぞれ購入し、更新するもので、これらの議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

人事

◎教育委員会委員の任命

◇兼子弘詔氏の任命に同意

◎固定資産評価員の選任

◇白崎敬浩氏の選任に同意

予算

◎一般会計補正予算（第1号）

原油価格・物価高騰対策等への措置のほか、緊急を要するものへの措置として、令和6年度の定額減税で減税し切れないと見込まれる方に対する支援給付金や生活困窮者自立支援事業等の委託事業者に対する補償金の追加などにより、9億9千569万円を増額し、予算総額は、536億1千569万円になるもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎一般会計補正予算（第2号）

新型コロナウイルスワクチンを接種した方のうち、健康被害が生じたことを国が認定した方に対する予防接種健康被害救済制度による給付金の追加により、4千448万4千円を増額し、予算総額は536億6千17万4千円になるもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

陳 情

■不採択となった陳情

◎国に「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求めることについて

江別市生活と健康を守る会
会長 鹿島敏夫氏

■趣旨採択となった陳情

◎物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引き上げを求めることについて

全日本年金者組合江別支部
支部長 吉田一夫氏

報 告

◎江別振興公社、スポーツ振興財団、フラワーテクニカえべつの令和5年度決算に関する書類
市が出資している公社や財団、株式会社との令和5年度決算が報告されました。

そのほか本定例会に提出された議案

件 名	議決結果
訴えの提起	原案可決(全員一致)
損害賠償の額の決定(交通事故に係る損害賠償の額の決定)	原案可決(全員一致)
市税条例の一部改正	原案可決(全員一致)
都市計画税条例の一部改正	原案可決(全員一致)
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決(全員一致)
市営住宅条例の一部改正	原案可決(全員一致)
聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書	原案可決(全員一致)
地方財政の充実・強化に関する意見書	原案可決(全員一致)
専決処分につき承認を求めること(市税条例の一部改正)	承認
専決処分につき承認を求めること(都市計画税条例の一部改正)	承認
専決処分につき承認を求めること(国民健康保険税条例の一部改正)	承認
専決処分(交通事故に係る損害賠償の額の決定)	報告済
一般会計予算継続費の繰越報告	報告済
一般会計予算繰越明許費の繰越報告	報告済
水道事業会計予算の繰越報告	報告済

(5)

えべつ市議会だより 令和6年8月1日発行

議員が市政をただす 一般質問

今定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。

誌面の都合上、各議員が行った質問の中から、1人2項目を要約してお伝えいたします。

質問席

▼給食センターの運営体制

質問 調理業務の担い手の確保が難しくなっている最大の要因は、正職員を採用してこなかったことにあると考えるが、現状を改善するため、採用形態を変更する考えは。

答弁 給食センターの運営体制については、現在、正職員と会計年度任用職員による直営方式としているが、全国的に人手不足が深刻化しており、調理業務の担い手の確保がますます難しくなっていくものと考えている。

市教委では、これまでも、現場の職員等の意見を聴きながら、正職員が担うべき業務と会計年度任用職員が担う業務を整理した上で、職員の適正な配置と効率的な組織体制の下、安心・安全な学校給食を提供してきた。

今後においても、引き続き、現場の状況や職員の意見を踏まえながら、効率的な運営に努めていきたい。



民主・市民の会
吉田 美幸 議員

▼今後の学校給食に対する考え方

質問 民間事業者から情報収集するサウンディング型市場調査は学校給食の今後を考える手法としてはそぐわないと考えるが、具体的にどのような項目を調査する予定なのか。

答弁 市教委では、引き続き、安心・安全な学校給食を安定的に提供するため、令和6年1月に設置した江別市学校給食の在り方検討委員会において、様々な方向性について十分な議論が行われるよう、サウンディング型市場調査など、多角的な視点からの情報収集を実施することとしている。

また、調査項目としては、施設の老朽化や人手不足などの課題を解消するため、民間事業者のノウハウを生かした、施設・設備の更新及び管理方法や給食提供方法のほか、学校給食を取り巻く状況などについて、幅広く聞き取っていきたい。

▼外国人住民と市の懇談機会

質問 行政との接点を持ちにくい外国人住民と、懇談の機会を設ける必要があるのでは。

答弁 令和6年6月1日現在、江別市の住民基本台帳に登録された外国人人口は千32人であり、前年より155人増加している。

外国籍の方が増えていることを踏まえ、防災や福祉など、暮らしに関わる情報提供の要望がある場合には、日本人と同様に出席講座のメニューを用いて、対面で説明を行っている。

また、今年5月には、要望を受けた市職員が礼拝所を訪問し、ゴミの分別や収集の方法のほか、10月に改定される手数料の説明を行った。

市では、外国籍の方からの生活上の様々な問合せ等に応えることは重要であると認識していることから、今後も、対面式で説明を行う出席講座の活用を図るとともに、引き続き、関係機関とも連携し、様々な機会を利用して、説明や意見を伺う場を設けていきたい。

▼多文化共生に関する具体的な指針

質問 外国人定住者が増加する中、具体的な指針の策定を検討する時期に来ているのではないかと思うが、策定の必要性和緊急性をどう考えるか。

答弁 市は、今年度からスタートした第7次総合計画の中で、国籍や文化の違いなどにかかわらず、誰もが自分らしく、生き生きと暮らすことができるまちづくりを進めることとしている。

この共生社会は、様々な取組による人々の意識への働き掛けを通じて、心理的な壁をなくし、互いの個性を理解し合う意識を醸成することで作られるものと考えていることから、外国籍の方も、協働のまちづくりを担う一員として捉えていくべきものと考えている。

多文化共生に関する指針については、単独のものや他の計画や総合計画に含めているものなど様々な手法があるため、まずは、他自治体の情報を収集した上で、必要性も含めて判断したい。

▼自転車利用者への交通安全対策

質問 道路交通法の改正を機に、改めて交通法規を周知することが求められているのでは。

答弁 市では、第11次江別市交通安全計画において、北海道自転車条例や国の自転車安全利用五則に基づき、車道の左側通行の原則や夜間のライト点灯、ヘルメット着用などの交通ルールを周知するとともに、市内小中学校の全ての児童生徒にリーフレットを配付するなど、交通安全の啓発に努めてきた。

今年5月に、道路交通法が改正され、車やオートバイと同様に交通違反に対して反則金を課すなど、自転車の交通違反に対する規定が大きく見直されたことから、市では、自転車利用時のルールに対する関心が高まる機会になると考えている。

今後、国から示される改正法の施行期日に合わせ、広報などで情報発信を行うとともに、警察署や関係団体と連携しながら、効果的な啓発活動を展開し、交通ルールの周知に努めていきたい。

▼市職員の女性管理職の割合

質問 まずは、計画に掲げている15%の数値目標を達成させることが重要だが、次は市職員全体の男女比を視野に入れた検討が必要ではないか。

答弁 医療職を除く市職員の女性管理職の割合は、平成29年4月1日時点では4.2%であったが、令和6年4月1日現在では11.1%に増加している。

管理職への登用には、性別にかかわらず、能力の適正な評価によることが基本であり、将来的には、女性管理職の割合は職員全体の男女比と同じ割合になるものと考えている。

令和7年度に、江別市職員の仕事・子育て・女性活躍推進に関する行動計画を見直す予定であることから、国が示す数値や市職員の構成などの様々な要素を考慮した上で、次に目指すべき数値目標を定めたい。

このほか、地方自治法の改正について質問がありました。



えべつ地域創生の会
高柳 理紗 議員



日本共産党議員団
高橋 典子 議員



公明党
奥野 妙子 議員

▼やさしい日本語の普及啓発

質問 外国人や高齢者、障がいのある方など全ての市民に向けた新しい情報発信ツールとして、やさしい日本語の活用が有効では。

答弁 やさしい日本語とは、難しい言葉を言い換えるほか、一文は短くする、3つ以上のことを言うときは箇条書にするなど、相手に配慮した日本語のことで、日本人だけでなく、日本に住む外国人の方々にも、日本語で確実に情報を届けることを目的としている。

全国的な外国人人口の増加に伴い、市内の外国人人口は今後も増加が見込まれるほか、国籍も多様化していくものと考えていることから、外国人の方々が市内で安心して暮らすためには、地域の方々の良好なコミュニケーションが不可欠である。

やさしい日本語は、外国人の方々と地域住民とが円滑にコミュニケーションを図る上で、効果的であると認識していることから、今後、普及啓発の取組を進めていきたい。

▼携帯トイレの備蓄計画

質問 大規模災害に備え、携帯トイレの備蓄計画の見直しが必要と考えるが、現計画の備蓄目標数の根拠は。

答弁 携帯トイレは、令和元年度からの10か年計画で1万5千枚を備蓄目標としており、現在までに1万2千枚を備蓄している。これは、想定避難者数を目安とした1万枚に、新型コロナウイルス感染症対策として、5千枚を上積みしたものであり、少しでも初動対応の充実を図るため、他の備蓄品整備の状況なども勘案しながら毎年計画的に購入を進めているものである。

また、不足が見込まれる際は、協定を結んでいる企業の流通在庫物資により対応することとしている。

現在、国では、令和6年能登半島地震の検証作業が進められており、市として最低限必要な備蓄の考え方などが示されることとなっていることから、それらを踏まえた上で対応を検討していきたい。

▼市内公園の管理運営

質問 PPPやPFIの手法を用いた管理方法の検討は。

答弁 市内の都市公園では、平成20年度から、PPPの枠組みの一つである指定管理者制度を導入しており、イベントの開催など、公園を活用した様々な取組を行っている。

都市公園におけるPFIは、平成29年度の都市公園法の改正により、パークPFI制度が創設され、札幌市や恵庭市の集客性の高い大規模公園で導入されている。

都市公園は、幅広い世代のコミュニケーションを形成する大切な空間であり、公共と民間の連携による魅力ある公園の活用は、重要であると考えているが、パークPFIは、民間事業者の飲食店や物販等の収益がなければ成立しないため、市内には国道等に面する集客性の高い公園が少ないことが課題となっている。引き続き、他都市の取組について情報収集を行いながら、公共と民間の連携した公園の活用について、調査研究していきたい。



無所属
岩田 優太 議員

▼財政運営

質問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金終了後の安定した財源確保への考え方は。

答弁 令和2年度から5年度までは、国から予算措置された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、低所得世帯や事業者等への支援のため、地域の実情に応じて効果的・効率的な事業を、きめ細やかに実施した。

また、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後も、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して支援を進めている。

市では、厳しい財政状況の中、財源の確保を図ることは、非常に重要と考えているため、予算を編成する際には、予算編成方針に基づき、充当可能な財源について幅広く確認している。

今後も、国の交付金などを最大限に活用しながら、安定した財源確保に努めていきたい。

※PPP…公共と民間の連携により、行政サービスの向上や財政資金の効率的な使用などを図る事業の枠組

※PFI…民間の資金や経営能力、技術力を活用し、公共施設の建設や改修、管理運営等を行う事業手法

▼小中学生のかばんの重さ対策

質問 小中学生が学校に教材を置いて帰るいわゆる置き勉の実施状況と、かばんの重さに一定の基準を設けることへの見解は。

答弁 小中学生の教科書は、学習指導要領の改訂に伴うページ数の増加や、サイズの拡大などにより、近年重量が増えている。また、タブレット端末の持ち帰りや、暑さ対策とコロナ対応に係る水筒の持参も、かばんの重さが増えた要因の一つであると考えている。

これまでも、市教委では校長会議において、国の通知を基に、児童生徒の携行品に係る重さや量への配慮を要請しており、各学校では、置き勉に関する基本的なルールを定めている。

かばんの重さ対策としての置き勉について、市教委が一定の基準を設けることは難しいが、引き続き、各学校が、家庭学習の必要性を踏まえた上で対策に取り組めるよう、連携して進めていきたい。

▼セキュリティアプリの活用

質問 犯罪に巻き込まれる危険性を遠ざけ、トラブルを未然に防ぐことが重要と考えるが、学習用タブレットのセキュリティ対策は。

答弁 市教委では国が進めるGIGAスクール構想に基づき、タブレット端末の整備と、多機能大型ディスプレイなどの周辺機器や環境の整備を進めている。

市内の小中学校に整備したタブレット端末は、インターネット上の脅威に対し安全性の高い機種を選定しているほか、SNSや有害サイト、個人情報への入力を求めるサイトへのアクセスなどができないよう制限するため、クラウド型のセキュリティサービスを採用しており、これまでも大きな事故は発生していない。

市教委では、児童生徒が、安全かつ安心な環境で学習活動に取り組むことが重要であると認識していることから、今後の端末等の更新に向けて、タブレット端末のセキュリティ対策に引き続き取り組んでいきたい。

▼子どもが主役のまち・江別市の宣言

質問 市長はどのような考えや思いを持って策定し、どのようなメッセージを発信するのか。

答弁 宣言をするのは、未来を担う子どもたちは、江別の宝であり、その子どもたちがいつも笑顔でいられ、健やかに成長するまちを目指したいという思いからである。

宣言の策定には、子どもをはじめとした市民の意見を広く聴くことが大切であり、4月に、市内の小学校・中学校・高校の協力を得て、子どもを対象としたアンケート調査を実施しており、今後その結果を踏まえて、子ども・子育て会議で検討した後、パブリックコメントにより、市民意見を聴いた上で、年内を目途に策定を進める予定である。

内容については、子どもの権利条約の精神にのっとり、権利の尊重、子どもの育ちの支援、子育て支援、地域ぐるみの子育てなど、理念的な内容とし、子どもの自己肯定感を大切にするということについても、発信していきたい。

▼香りの害に関する実態調査

質問 市教委は学校内での香りの影響を研究するというが、まずは、実態調査を行って、子どもたちや学校現場、保護者が香りの害を知り、理解することが重要では。

答弁 厚岸町教委が町立小中学校の児童生徒や保護者、教職員に対して香りの害に関する実態調査を行ったことは承知している。

一方、市教委では、入学時や転入の際などに、食物アレルギーや化学物質過敏症による身体への影響など、学校生活を送る上で配慮を必要とする事項について、児童生徒個々の状況把握に努めているところである。

現時点で実態調査は予定していないが、国や社会情勢などの動向を注視するとともに、引き続き、児童生徒や保護者などに向け、香りを不快と感じる方への配慮を促す啓発に努めていきたい。

このほか、地方自治法の改正について、江別市自治基本条例について、フッ化物洗口について質問がありました。



公明党

三吉 芳枝 議員



民主・市民の会

干場 芳子 議員



公明党
長田 旭輝 議員

▼心のサポーター養成研修の実施

質問 精神疾患に対する正しい知識を学び、相談窓口へつなぐ心のサポーターの必要性をどう考えるか。

答弁 心のサポーターは、メンタルヘルスの問題を抱える身近な人に対して、傾聴を中心とした支援を、正しい知識に基づき実践する者とされており、国では令和15年度までに全国で100万人の養成を目指している。

しかし、心のサポーター養成研修を行うために必要な指導者養成研修の修了者は、全国にまだ千200人程度しかおらず、研修プログラムなども示されていないため、現段階での実施は難しい状況と考えている。

心のサポーターとゲートキーパーは、心の不調に関する知識の普及や対応法を伝えることを目的としており、誰でも担える点や、気づき、話を聞き、つなぐ役割を持つ点など共通する部分が多いことから、市では、引き続き、ゲートキーパーの養成を進めながら、今後も、国の動向や他自治体の状況などの情報収集に努めていきたい。

▼U字溝の安全対策と道路整備の優先度

質問 U字溝の状況を道路整備の優先度の判断要素に加えては。

答弁 市内生活道路のうち、U字溝などの側溝がある市道は約2割を占めており、道路の表面水を集めて円滑に排水する必要があることや、効率的な維持管理のため、原則として、蓋は設置していない。

そのため、道路沿線に住む方が車両の出入りなどのために蓋をつける場合は、自己負担で行うほか、安全上必要と判断したときは、市が設置している。

また、老朽化などにより生活道路の改修を行う際は、暗渠による排水整備を行い、U字溝の解消を進めており、改修を行う生活道路の選定は、老朽化による道路の破損状況や地域バランスだけではなく、既存のU字溝などの排水施設の状況も、重要な判断要素としている。

今後も、生活道路の改修に合わせ、U字溝の解消を進め、安心・安全な道路環境整備に努めていきたい。

質問項目

- ①趣味②好きな食べ物③特技
④私のモットー

掲載順

(議長、副議長、50音順)

議員の横顔



島田 泰美

- ①カラオケ・音楽鑑賞
②何でも
④誠実に生きること



内山 祥弘

- ①写真・音楽
②味噌ラーメン
③歌
④何とかなる



石川 麻美

- ①編み物・ドライブ
③整理整頓
④話をよく聞くこと



石田 武史

- ①バドミントン・スキー
②寿司・そば・ケーキ



稲守 耕司

- ①音楽映画鑑賞
②インドカレー
④常に自然体

 猪股 美香 ②江別産大豆製品 ③絵本読み聞かせ ④みんな違って、みんな良い^^！	 岩田 優太 ③傾聴 ④疾風に勁草を知る	 岡 英彦 ①スキー・秘湯巡り ②焼肉・黒ごま団子 ④政治に関わるお金をオープンに	 奥野 妙子 ①旅行・映画鑑賞 ②えびせん・チョコ ④忍耐強く、楽観主義で	 長田 旭輝 ①音楽鑑賞・楽器演奏 ②カレーライス ④報恩感謝・相手は鏡
 佐々木 聖子 ①旅行・ドライブ ②お寿司・麺類 ④「笑顔&誠実」	 鈴木 誠 ①種からの野菜作り ②そば外麺類 ④地域のチカラを活かす	 高橋 典子 ①庭の草取り(の筈がなかなかできず) ②江別の新鮮な野菜 ④命とくらし最優先	 高間 専逸 ①ドライブ ③サッカー ④努力	 高柳 理紗 ①釣り・山菜取り！ ②春菊・貝・羊肉！ ④正直に、等身大で
 徳田 哲 ①野球観戦 ②旨辛なラーメン ④幻想なき理想主義	 野村 和宏 ①スキー・バイク ②何でも ③筋トレ ④スピード対応	 野村 尚志 ①食べ歩き ②アイスクリーム ③早起き ④人の話を聞く	 芳賀 理己 ①クッキング ②五勝手屋羊羹 ③動けない方の看護ケア ④人の陰口を言わない	 藤城 正興 ①スポーツ観戦 ②白米 ④まずは相手を理解する事
 干場 芳子 ①読書・音楽 ②おにぎり ④初心を忘れず！	 本間 憲一 ①読書 ②和食 ④聴く！言う！動く！	 三吉 芳枝 ①1人映画鑑賞 ②チーズ・漬物 ④初心を忘れない	 吉田 美幸 ①読書・料理(酒の肴) ②お寿司・麺類 ④NOは言わない	 吉本 和子 ②甘味、一番は「煉瓦餅」 ④市民の声を市政に届ける



▶ 議会運営委員会

議会運営に関する検討課題として、①議会基本条例で検証した内容に基づく課題の対応、②議会としての政策形成サイクルの構築、③一般質問を議会からの政策提案につなげる手法の検討、④市民意見反映(広聴の在り方)の手法の検討及び⑤議会モニター制度の5つの課題について、議会改革検討小委員会を設置し協議を始めました。

前任期で行った議会基本条例の評価・検証結果を軸として、5つの課題を落とし込む形で今後も協議を行っていきます。議会基本条例は江別市議会ホームページから御覧いただけます。

▶ 総務文教常任委員会

旧町村農場のリニューアルオープンについて、施設整備の方向性や改修内容、今後の活用方法等の報告を受けたほか、学校給食の在り方検討委員会の設置、学校施設の暑さ対策、区画整理記念会館、文京台地区センター、都市と農村の交流センターの指定管理者の更新、行政改革大綱(案)や本庁舎建設基本計画(案)のパブリックコメントの結果等について、報告を受け質疑を行いました。

▶ 生活福祉常任委員会

付託された陳情第2号「国に現行の健康保険証の存続を求める意見書の提出を求めることについて」及び陳情第3号「物価上昇に見合う高齢基礎年金の引き上げを求めることについて」の審査を行いました。

陳情第2号は不採択とすべきもの、陳情第3号は趣旨採択とすべきものと決しました。

また、消防本部から、救急搬送時にタブレット端末などを活用して患者の受入れ要請や病院への引継ぎを円滑に行う救急業務デジタル化事業が10月から運用開始予定となることについて、子ども家庭部から、今回初めて行ったヤングケアラー調査の結果などについて報告を受けました。

▶ 経済建設常任委員会

経済部から、スマート農業推進検討事業の進捗状況、江別市鳥獣被害防止計画(第5期)の策定、江別アンテナショップ管理運営事業者の公募及びかわまちづくり事業の進捗状況などについての報告を受けました。

建設部から、大規模盛土造成地変動予測調査業務の結果について、詳細調査を行った3か所はいずれも安全性に問題はなかったとの報告を受けました。

また、第2回定例会では、市営住宅の用途廃止に係る条例の一部改正について、全員一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

▶ 議会広報広聴委員会

令和5年度政務活動費のホームページの公開について報告を受けたほか、議会だよりの作成や、行政に対する意見・要望の収集方法などについて、先進地の調査を行いました。この調査を踏まえ、二次元コードを導入するなど、活動が分かりやすい「議会だより」となるように早急に協議を行います。

そして一人でも多くの市民の皆様の声を広聴できるよう「市民と議会の集い」開催方法につきましても、引き続き協議を行ってまいります。